

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	小川 敏行	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4087	事務事業名称	後期高齢者医療制度準備事業						短縮コード	経常	4087	臨時	4088
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	老人福祉費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務			根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律、千葉県後期高齢者医療広域連合規約							
☐ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
高齢者の医療の確保に関する法律が施行され、県内の全市町村が加盟する広域連合が運営を行なうため。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
広域連合と市町村を結ぶオンラインのシステム、市町村が担当する事務（保険料徴収、各種受付）を円滑に行なうためのシステムの開発が必要となる。					大項目（節）	01	保健・医療						
					中 項 目	02	医療						
					小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実						
					細 項 目	02	医療費の給付等						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①平成20年4月から施行される後期高齢者医療制度の運営を行なう、千葉県後期高齢者広域連合への事務費負担。 ②市町村が受け持つ事務及び提供する情報のためのシステム等環境作り。 （平成18年度は①の負担金のみ）									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 負担金の交付。 （広域連合 千葉県後期高齢者医療広域連合の設立、各種規約の制定）									
	※平成19年度に計画していること： 新制度施行に向けた準備、システムの導入、周知など。 （広域連合 施行に向けてのシステムの整備）									
意図 （何を狙っているのか）	平成20年4月から施行される後期高齢者医療制度を円滑に運営するための準備作業									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	評価対象外項目									
区 分					単位	17年度	18年度		19年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	負担金のみにつき評価不能			なし					
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	負担金のみにつき評価不能			なし					
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	負担金のみにつき評価不能			なし					
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	4087	事務事業名称	後期高齢者医療制度準備事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			平成２０年４月の施行に向けて、市においてもシステムの開発等を行なう。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成１８年度は、広域連合側への負担金のみであったが、平成１９年度からは市の準備も開始されるため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
準備事業につき特に無し。									

所属長コメント	平成20年4月から、国の制度として実施されるもので、必須であると考える。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			有効性・効率性では可能性がないとしているが，経費の増加について検証し，システムの開発を推進すべきものとする。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									